

改定にあたって

本市では、平成 18 (2006) 年度から平成 22 (2010) 年度までを計画期間とする「千葉市第 2 次 5 か年計画」を策定し、「夢と誇りがもてる 安全・安心のまちづくり」を目標に掲げ、これまで計画の着実な推進を図ってまいりました。

しかしながら、今般、地方分権改革が進展する中で、地方財政においては、大幅な財源不足が生じており、財政健全化へ向けた取り組みの強化が求められています。

本市におきましても、極めて厳しい財政状況や、新たな法整備・制度改正など、当計画策定後の市政を取り巻く状況は大きく変動しています。

そこで、こうした変化に的確に対応するため、平成 20 (2008) 年度以降の計画事業について、計画目標やまちづくりの大切な視点などの基本的な考え方を踏襲しつつ、市民生活に大きく影響を及ぼすことのないよう、また、取り組む必要のある課題にも適切に対応できるよう、可能な限り配慮し、見直しを行いました。

今後は、この改定した計画に基づき「夢と誇りがもてる 安全・安心のまちづくり」に全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

平成 20 年 3 月 千葉市長
鶴岡 啓一

計画行政と予算

「千葉市基本構想」に定める基本目標等の実現に向けて、市政運営の中長期的な指針である「ちば・ビジョン 21」及びその実施計画「第 2 次 5 か年計画」、並びに各部局で策定する「個別計画」が一体となって総合的かつ計画的に市政を推進します。

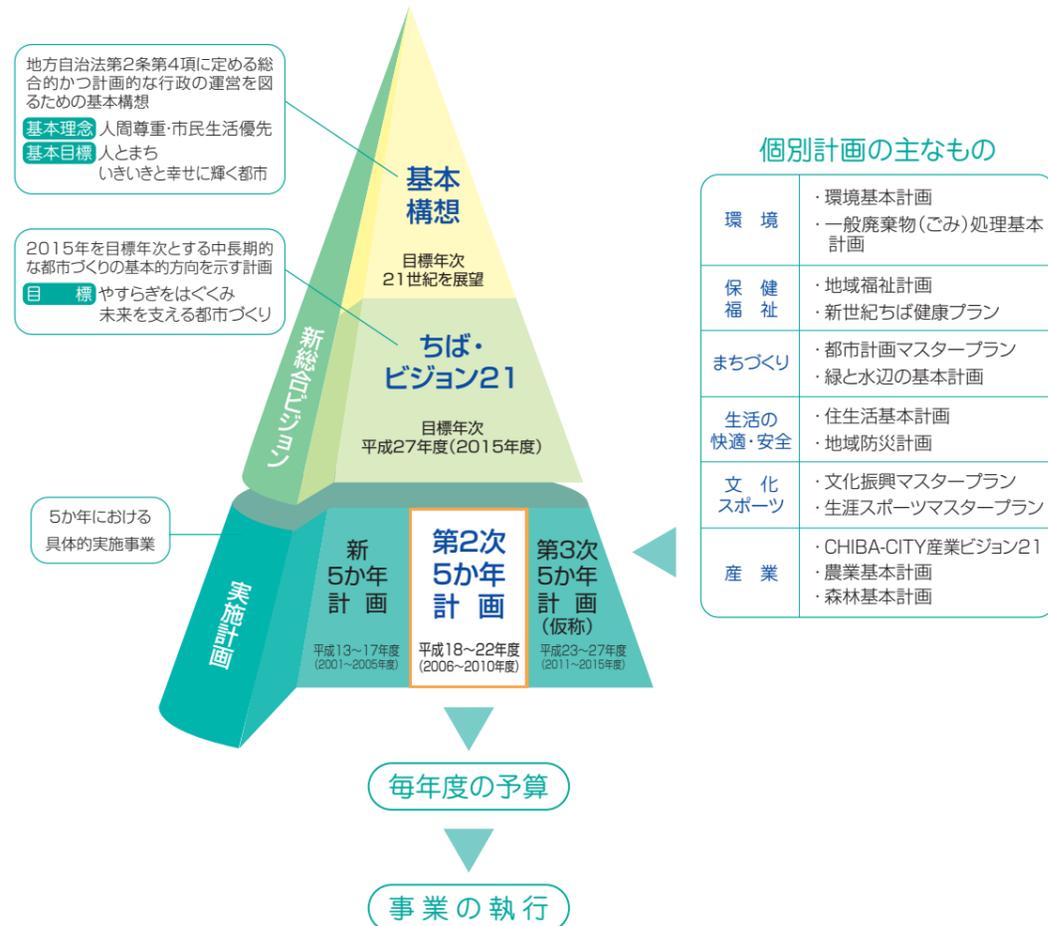
事業は、「毎年度の予算」に事業費を計上して実施します。

総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを具体化するための基本計画・実施計画

個別計画

市政の特定課題に対応するため各部局が策定する計画



1. 第2次5か年計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

この本計画は「ちば・ビジョン 21」に基づく第 2 次の実施計画として、引き続き将来像の実現を目指して、時代の変化に対応した新しい視点を取り入れたまちづくりの具体的施策を総合的に明らかにするとともに、市民・民間団体・企業・行政の活動指針とするため、策定するものです。

2 計画の目標

夢と誇りがもてる 安全・安心のまちづくり
一人ひとりの市民が、自分自身やまちの将来に夢をもつとともに、千葉市に住んでいることに誇りをもち、犯罪や自然災害などに対してはもとより、子育てや健康、環境など地域社会での生活に不安を感じることなく、安全で安心して、いきいきと暮らすことができるまちづくりを目指します。

3 計画の名称

千葉市第 2 次 5 か年計画

4 計画の期間

平成 18 年度 (2006 年度) ~ 22 年度 (2010 年度) (5 年間)

5 まちづくりの大切な視点

時代潮流に的確に対応した計画を策定するため、12 の「まちづくりの大切な視点」を定めます。

- ① 千葉市らしさの確立
- ② 安全・安心のまちづくり
- ③ 都心の育成・整備と暮らしやすい地域づくり
- ④ 少子化への取り組み
- ⑤ 若い力を生み出す取り組み
- ⑥ 超高齢社会へ向けての対応
- ⑦ ユニバーサルデザインによるまちづくり
- ⑧ 環境との共生
- ⑨ 産業の再生・雇用の促進
- ⑩ 高度情報化への対応
- ⑪ 協働のまちづくり
- ⑫ 地方分権の進展に伴う対応

6 施策展開の基本方向

「ちば・ビジョン 21」に掲げた将来像実現のための 9 つの方向を「施策展開の基本方向」とします。

- ① 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る
- ② 地球と共に生きる循環型都市を創る
- ③ 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る
- ④ 生活環境のゆとりと安全を確保する
- ⑤ 都市の機能と表情を豊かにする
- ⑥ 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる
- ⑦ 様々な交流から新しい文化を創造する
- ⑧ 躍動し賑わいを生む産業を展開する
- ⑨ 参加と協働の社会を創る

2. 施策体系

第1部 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る

第1章 うるおいをはぐくむ緑と水辺の保全と創造を図る

- 第1節 自然緑地・里山・谷津田の保全と整備
- 第2節 水辺環境の回復と活用
- 第3節 緑と水辺のネットワーク化の推進

第2章 緑あふれる都市空間の保全と創造を図る

- 第1節 公園緑地の整備
- 第2節 公園利用の促進と管理の充実
- 第3節 緑化の推進
- 第4節 花のあふれるまちづくり「花の都・ちば」の推進

第2部 地球と共に生きる循環型都市を創る

第1章 人に、自然にやさしい環境づくりを進める

- 第1節 環境共生都市づくりへの取り組み
- 第2節 地球環境問題への取り組み
- 第3節 豊かな自然の保全・再生への取り組み
- 第4節 良好な大気環境づくりの推進
- 第5節 良好な水環境づくりの推進
- 第6節 良好な地質環境づくりの推進
- 第7節 環境教育・環境保全活動の推進

第2章 ごみの排出抑制と適正処理・リサイクルを進める

- 第1節 資源循環型社会づくりの推進
- 第2節 ごみの適正処理の推進
- 第3節 産業廃棄物処理対策の推進

第3部 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る

第1章 保健福祉基盤の充実を図る

- 第1節 地域福祉の推進
- 第2節 地域保健福祉体制の充実

第2章 健康づくりを推進する

- 第1節 保健サービスの充実
- 第2節 医療体制の充実
- 第3節 食の安全と環境衛生の推進

第3章 明るく活力ある超高齢社会を構築する

- 第1節 介護予防・生きがい対策の推進
- 第2節 在宅サービスの充実
- 第3節 施設サービスの充実

第4章 安心して子どもを生み、育て、働ける環境づくりを推進する

- 第1節 子育て支援施策の推進
- 第2節 子どもと母親の健康づくりの推進
- 第3節 健全育成環境づくりの推進
- 第4節 支援を必要とする子どもや家庭への対応

第5章 障害のある人もない人も共に暮らせる社会を実現する

- 第1節 障害児療育の充実
- 第2節 自立と社会参加の促進
- 第3節 地域生活の支援強化
- 第4節 施設サービスの充実

第4部 生活環境のゆとりと安全を確保する

第1章 快適な生活環境を整える

- 第1節 人にやさしいまちづくりの推進
- 第2節 人と車と地域が共生する道づくりの推進
- 第3節 住宅・住環境の整備
- 第4節 市営水道の整備
- 第5節 排水処理対策の推進
- 第6節 消費生活の安定・向上
- 第7節 墓地・斎園環境の整備

第2章 安全で災害に強いまちづくりを進める

- 第1節 総合的な防災体制の整備
- 第2節 消防体制の整備
- 第3節 崖崩れ対策の推進
- 第4節 水害対策の推進
- 第5節 防犯対策の推進

第5部 都市の機能と表情を豊かにする

第1章 魅力あるまちづくりを推進する

- 第1節 都市の魅力づくりと情報発信の強化
- 第2節 千葉都心の整備
- 第3節 幕張新都心の整備
- 第4節 蘇我副都心の育成・整備
- 第5節 拠点の育成強化

第2章 快適な市街地環境の整備を推進する

- 第1節 魅力ある都市景観の形成と計画的誘導
- 第2節 既存市街地・市街化進行地域の整備
- 第3節 新市街地の計画的整備

第3章 総合交通体系を確立する

- 第1節 交通体系の充実と連携強化
- 第2節 地域の社会・経済を支える道づくりの推進
- 第3節 鉄道・バス等の整備促進
- 第4節 都市モノレールの整備

第6部 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる

第1章 次代を担う子どもたちをはぐくむ

- 第1節 幼児教育の振興
- 第2節 義務教育の充実
- 第3節 高等学校教育の振興
- 第4節 特別支援教育の振興
- 第5節 高等教育等の振興
- 第6節 青少年の健全育成

第2章 心のふれあう生涯学習社会を振興する

- 第1節 地域づくりを支援する生涯学習の推進
- 第2節 社会教育施設の整備・充実

第7部 様々な交流から新しい文化を創造する

第1章 個性豊かな新しい千葉文化を創造する

- 第1節 地域文化の創造
- 第2節 文化施設の充実と活用
- 第3節 文化財・伝統文化の保存と活用

第2章 スポーツ・レクリエーション活動を振興する

- 第1節 スポーツ・レクリエーション活動の推進
- 第2節 スポーツ・レクリエーション施設の整備

第3章 国際化を推進する

- 第1節 国際交流・協力活動の推進
- 第2節 外国人市民と共に生きる地域社会の形成
- 第3節 国際活動の拠点の形成とネットワークの強化

第8部 躍動し賑わいを生む産業を展開する

第1章 地域経済の振興を図る

- 第1節 中小企業の育成支援と新事業の創出
- 第2節 産業都市形成の推進
- 第3節 商業・業務機能の強化
- 第4節 物流・港湾機能の強化
- 第5節 観光・コンベンションの振興

第2章 都市農林業の振興を図る

- 第1節 農業生産基盤の整備
- 第2節 優れた経営体の育成
- 第3節 農畜産物価格の安定化
- 第4節 環境にやさしい農業の推進
- 第5節 都市部との市民交流の促進
- 第6節 森林の保全と活用

第3章 雇用の促進を図る

- 第1節 雇用の促進
- 第2節 勤労者の支援

第9部 参加と協働の社会を創る

第1章 市民主体の都市を創る

- 第1節 市民に身近な行政の推進
- 第2節 コミュニティづくりの推進
- 第3節 男女共同参画社会の形成
- 第4節 市民公益活動の促進のための環境づくり

第2章 情報ネットワーク都市を実現する

- 第1節 わかりやすい市政情報の提供
- 第2節 電子市役所の実現
- 第3節 だれもが等しく情報を活用できる環境の整備
- 第4節 ネットワークインフラの整備

3. 計画の枠組み

① 人口の見通し

①人口

我が国の総人口は平成16年（2004年）をピークに、以後、長期の減少過程に入るものと見込まれています。

しかし、東京圏の総人口は、今後も増加を続け、平成27年（2015年）をピークに、以後、減少過程に入るものと見込まれています。

本市の人口は、5年間に3万1,000人増加し、目標年次の平成22年（2010年）には、95万5,000人と見込まれます。

(単位：人)

区 分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)	5年間の伸び率	
				H12~17	H17~22
中央区	170,911	184,637	194,000	8.0%	5.1%
花見川区	179,892	181,708	184,000	1.0%	1.3%
稲毛区	147,672	149,685	151,000	1.4%	0.9%
若葉区	151,351	149,898	148,000	-1.0%	-1.3%
緑区	101,829	112,850	125,000	10.8%	10.8%
美浜区	135,509	145,541	153,000	7.4%	5.1%
全市	887,164	924,319	955,000	4.2%	3.3%

※平成12年、17年は「国勢調査」

②年齢3区分別人口

少子化が緩やかに進むとともに、高齢化が急速に進行する中で、生産年齢人口の減少が見込まれます。

(単位：千人)

区 分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)	5年間の伸び率	
				H12~17	H17~22
老年人口	112	152	197	35.7%	29.6%
構成比	12.6%	16.5%	20.6%		
生産年齢人口	647	640	630	-0.3%	-1.6%
構成比	73.0%	69.2%	66.0%		
年少人口	124	128	128	2.4%	0.0%
構成比	14.0%	13.8%	13.4%		
人口総数	887	924	955	4.2%	3.3%

※平成12年、17年は「国勢調査」

③世帯数

世帯数は、平均世帯人員の減少により、今後も増加が見込まれます。

(単位：世帯)

区 分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)
中央区	74,548	82,627	90,000
花見川区	70,597	72,547	76,000
稲毛区	59,932	62,863	66,000
若葉区	56,281	57,621	61,000
緑区	34,372	39,132	46,000
美浜区	52,429	58,976	65,000
全市	348,159	373,766	404,000
平均世帯人員	2.55	2.47	2.36

※平成12年、17年は「国勢調査」

② 財政の見通し

国の財政見通しや本市の財政の状況を考慮するとともに、今後予定される行政改革の効果に加え、財政健全化への新たな取り組みとなる「公債費負担適正化計画」(平成19年3月策定)への対応を反映して、普通会計ベースの財政収支見通しを行った結果、計画期間(平成18~22年度)の財政規模は総額1兆7,091億円、また計画事業費率は1,834億円と見込んでいます。

普通会計に普通会計外及び債務負担行為を加えた第2次5か年計画全体の計画事業費率は、2,821億円と見込んでいます。

普通会計

歳入の見込み				歳出の見込み		
区 分	推計額 (億円)	構成比(%)	年平均 伸び率(%)	区 分	推計額 (億円)	構成比(%)
市 税	9,106	53.3	3.1	計画事業費率	1,834	10.7
市 債	2,394	14.0	-12.0	義務的経費等	15,257	89.3
その他歳入	5,589	32.7	-3.7	総 額	17,091	100.0
総 額	17,089	100.0	-1.3			

※歳入総額と歳出総額の差は、平成18年度決算における実質収支による。

(単位：億円)

区 分	計画事業費率
普通会計	1,834
普通会計外	811
債務負担行為	176
合 計	2,821

4. 計画事業数と計画事業費

区 分	計 画 事業数	計画 事業費 (億円)	構成比 (%)
第1部 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る	41	93	3.3
第2部 地球と共に生きる循環型都市を創る	33	87	3.1
第3部 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る	88	223	7.9
第4部 生活環境のゆとりと安全を確保する	96	1,176	41.7
第5部 都市の機能と表情を豊かにする	99	800	28.4
第6部 豊かな心をはぐくむ学びの情を広げる	36	342	12.1
第7部 様々な交流から新しい文化を創造する	17	39	1.4
第8部 躍動し賑わいを生む産業を展開する	44	32	1.1
第9部 参加と協働の社会を創る	32	27	1.0
合 計	486	2,818	100.0

5. 市民生活指標

市民生活に密接に関連する47項目を「市民生活指標」として掲げ、その達成を図るとともに、計画事業の成果を、わかりやすく示す指標として活用します。

(下線数字はアウトカム指標*1)

部	No.	指標	単位	平成17年度値	平成22年度目標値	備考
1 緑と水辺	1	谷津田保全区域面積	ha	9	24	谷津田等保全区域指定に基づく保全面積
	2	親しみのある水辺に整備した割合	%	33.4	56.8	親しみのある河川・水路・調整池の整備率（水辺整備延長/水辺計画延長）
	3	都市公園整備面積	ha	812	847	市内の都市公園面積
	4	大規模な公園の利用者数	人/年	3,004,183	3,140,000	千葉公園、花島公園、動物公園、泉自然公園、昭和の森、稲毛海浜公園、蘇我スポーツ公園の利用者数
	5	緑地協定締結数	地区	172	182	都市緑地法の緑地協定認可
	6	花のあふれるまちづくり参加・協働団体数	団体	345	420	花いっぱい市民活動参加団体
2 環境	7	温室効果ガスの総排出量	千tCO ₂ /年	17,888*	16,796	市内の温室効果ガスの総排出量 ※平成12年度値
	8	BOD達成率	%	55.0	100.0	BOD（生物化学的酸素要求量）環境目標値達成地点数/調査地点数（20）
	9	ごみ（一般廃棄物）の再生利用率	%	24	35	再生利用量/総排出量
	10	一人1日あたりのごみ（一般廃棄物）排出量	g	1,025	865	（総排出量－資源化量）/人口/365日（閏年は366日）
3 保健・福祉	11	進行した歯周炎に罹患している60歳の割合	%	56.9	50.0	歯周疾患検診の受診者における罹患者の割合
	12	介護・支援を必要としない高齢者の割合	%	86.36	85.61*	（高齢者人口－要支援・要介護認定者数）/高齢者人口 ※改正介護保険法の介護予防施策を行わない場合は84.44%
	13	いきいきプラザ・センターの利用者数	人/年	547,688	689,000	いきいきプラザ・センターの利用者数
	14	保育所入所待機児童数	人	340	0	
	15	ファミリー・サポート・センター活動件数	件/年	10,118	20,000	相互援助活動件数
	16	障害者の新規就職者数	人/年	219	280	年度内に新規に就職する障害者の人数
4 生活の快適・安全	17	障害者のグループホーム等の利用者数	人/年	82	214	障害者施設からグループホーム等へ入居した人数
	18	駅のバリアフリー化の割合（エレベーター整備等）	%	38.8	83.7	整備済駅数/全駅数
	19	歩道の段差改良率	%	88.0	100.0	歩道の安全かつ円滑な通行を確保するため、車道との段差を解消した歩道箇所
	20	放置自転車台数	台	15,143	7,500	放置禁止区域内等の放置自転車数
	21	耐震診断費助成戸数	戸	226	1,059	「千葉市耐震診断助成制度」による耐震診断助成戸数
	22	耐震改修費助成戸数	戸	12	102	「千葉市耐震改修助成制度」による耐震改修工事助成戸数
	23	汚水処理人口普及率	%	97.4	98.7	下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の汚水処理施設を利用できる人口
		下水道汚水処理普及率	%	96.0	97.3	/行政人口

*1 事業の結果として市民生活にもたらされる成果を表す指標

部	No.	指標	単位	平成17年度値	平成22年度目標値	備考
4 生活の快適・安全	24	床上・床下浸水及び広範囲な道路冠水の対策率	%	0.0	6.3	10年に1回程度の大雨に対して、整備が完了した面積/浸水被害が想定される区域
	25	救急救命士数	人	103	130	救急救命士の養成数
	26	自主防災組織数	組織	798	973	自主防災組織の組織数
	27	防犯パトロール参加市民数	人/年	18,780	57,960	活動届集計
	28	犯罪発生件数	件/年	23,959	15,600	刑法犯認知件数
5 まちの個性・魅力	29	狭あい道路拡幅整備事業受付件数	件/年	50	70	幅員4m未満の市道を広げるための用地として、市に対する寄付の申し入れのあった件数
	30	都市計画道路整備率	%	68.9	72.3	整備済延長/都市計画道路総延長
6 教育・生涯学習	31	学校ボランティア数	人	0	150	障害児サポート、フレンドリーチューターの数
	32	不登校児童生徒数の割合	%	0.96	0.68	不登校児童生徒数/全児童生徒数
	33	生涯学習講座の受講者数	人/年	119,689	179,000	公民館・生涯学習センター等における生涯学習講座の受講者数
	34	図書館図書貸出数	千冊/年	4,177	5,246	市立図書館における図書の貸出冊数
7 レクリエーション・国際化	35	主要文化施設利用者数	人/年	805,220	1,400,000	市民会館・地区ホール・ハーモニープラザ（女性センター）・文化交流プラザの利用者数
	36	博物館・美術館入館者数	人/年	174,111 (147,928)*	166,500	加曾利貝塚博物館・郷土博物館・市美術館の入館者数 ※かつこ内は、郷土博物館のプラネタリウム入館者数を除いた場合
	37	科学館入館者数	人/年	—	300,000	科学館入館者数（H19～）
	38	国際交流ボランティア活動件数	件/年	670	1,000	ボランティア斡旋件数
8 産業	39	ビジネス支援センターの利用者数	人/年	—	110,000	ビジネス支援センターの利用者数（H19～）
	40	企業立地助成数	件	7	29	企業立地助成制度を活用して立地した企業数
	41	映画・TV等のロケーション撮影誘致件数	件/年	—	50	市内での撮影誘致件数
	42	特別栽培農産物栽培品目・面積	品目/ha	6/63	8/70	JA千葉みらい調査実績
9 参加・協働	43	市民農園数（区画数）	区画	3,467	3,708	市民農園の設置区画数
	44	千葉市民活動センター登録団体数	団体	320	470	
	45	コミュニティセンター利用者数	人/年	1,481,320	2,000,000	コミュニティセンター及び土気あすみが丘プラザの利用者数
	46	各種証明書等の自動交付機（KIOSK端末）の設置台数	台	0	12	設置台数
	47	電子入札件数	件/年	0	3,000	電子入札利用件数

6. 計画の推進にあたって

- (1) 市民等の参加と協働、行政内部の連携強化
- (2) 行政改革の推進と財政の健全化
- (3) 計画の弾力的な運用